

名称	試験室 (No.672)
建築年代	昭和 20 年以前
構造	・弾道管の南側、燃焼実験室の東側に位置し、試験室(No.552)の西隣に設置されている。 ・内部は木板が張られ、スチール製棚や木製棚等が残置している。 ・外壁はトップコートもしくはモルタルが塗装されており、亀裂や割れがみられる。 ・外壁にはペンキと思われる塗料で「672」と表記されている。
用途	戦前の史料では建物の具体的な利用方法は不明。
特徴	・屋根は建物中央部分が低い凹型の形状を有し、鉄管が設置される独特な形状を有する。使用用途に関係した形状と考えられるが、その理由は判明していない。



外観



室内